



びわ湖の環境について考えよう ～水草とワタカの関係を探って～



活動のねらい ●びわ湖の固有種であるワタカが、大量繁茂した水草の問題解決に役立てられていることを知り、びわ湖の生き物や水質について興味・関心を持ち、びわ湖との関わりを考える。	【時 期】 通年
	【場 所】 学習室
	【時 間】 20分～30分
	【準備物】 パソコン、プロジェクター、スクリーン、(ワタカ)

主な活動の流れ

事前学習

- 「人間にとって良いびわ湖とは」を考える。
(イメージマップの活用)
- 増えすぎた水草を減らす取り組みについて調べる。 スライド①
 ・大量繁茂した水草が問題となっていることを押さえ、取り組みについて調べる。
(スライド資料活用)

水草とワタカの関係について考えよう。

フローティングスクール

- ① 水草とワタカの関係について考える。
 ・事前に学習した、水草を減らす取り組みを確かめる。
 ・ワタカが水草を減らす取り組みの1つとして活用されていることを知る。(スライド資料活用)
 ・(実際にワタカを観察する) スライド②
- ② 「全ての生き物にとってよいびわ湖とは」を考える。
(イメージマップの活用)
 ・「ワタカにとってのよいびわ湖とは」「プランクトンにとってよいびわ湖とは」というように、人間だけではなく、「全ての生き物にとってよいびわ湖とは」を考える。
 ※事前学習で行った、「人間にとってよいびわ湖とは」の時に出了意見や考えと比べ、共通点や違う点、矛盾点を見つける。



事後学習

- フローティングスクールでの学習を終え、新たに疑問に思ったことやさらに詳しく知りたくなったものについて調べる。
- 全ての生き物にとってよいびわ湖にするためにはどうしたらよいか考え、交流する。 ※スライド資料①・②は、県水産課の資料を編集して作成しています。